ほけんだより 6月

令和７年度
看護部

もうすぐ梅雨の季節がやってきます。気温も湿度も高くなる季節ですが、心身ともに健康で過ごせる環境づくりに努めていきます。
今月のほけんだよりは、夏に子供に流行る病気についてのお話です。

夏に流行る子供の病気

●ヘルパンギーナ

夏に多い感染症です。発熱と口の中に発疹のできる夏風邪の一種。２～４日程度で解熱します。口の中の違和感や痛みの為、不機嫌になったり食欲がなくなることもあります。

●手足口病

特に２歳以下の発症が多いです。口の中、手足に発疹がみられます。発熱がないこともあります。まれに感染後一か月以内に手足の爪がはがれることがあるが、自然に治っていきます。

●咽頭結膜炎（プール熱）

アデノウイルスの感染による、のどの痛みや結膜炎（片目の場合も両目の場合もある）といった症状がみられます。発熱が５日程度続くことがあり、目やになどの目の症状がみられます。

6月4日～10日は『歯と口の健康週間』

6月の園児さん対象の保健活動は、【歯磨き指導を行う予定です】

活動報告
けがの応急処置

職員を対象に、けがの応急処置の指導を行いました

すり傷や切り傷、打撲、鼻血など、子供たちが怪我をしてしまったときに速やかに対処が取れるように,看護師から説明を行いました。

実際に各園に置いてある救急箱の中身を確認しながら、傷の程度に合わせた処置の方法などを説明を行いました。